

「2014 こどもホタルエンジャー」

活動報告用紙

※この用紙には、先生や団体の代表者の方が記入してください。

① 団体名 (学校、企業、NGO/NPO など)	よみがな ひろしまけんふくやましりつはっとりしょうがっこう 広島県福山市立服部小学校
③ 活動名「タイトル」	よみがな ふるさと さと はっとり わたしたちの故郷 ホタルの里 服部
④ 活動場所	服部川 ほたるの館 服部小学校
⑤ 今回活動した こどもの学年・人数	小学校5年生 5人 小学校6年生 9人
⑥ 活動期間	2014年(平成26年)4月7日 ~2015年(平成27年)年 3月31日 (※継続年数 23 年)
⑦ おもな受賞歴	平成23年度 功労者表彰(福山市) 平成25年度 ふくやま環境賞(福山市)
⑧ 団体(学校・企業・NGO/NPO など)の紹介(400字程度で簡潔に)	
服部小学校の「ホタル学習」は、毎年5年生が中心になって進めます。遙かな時間を越えて流れ続けてきた清流といわれる服部川も、1991年頃から、水質の悪化が懸念され始めてきました。服部の豊かな自然を守り、「ホタルの里づくり」をとおして豊かな感性を育み、地域活性化に貢献することを目的とする「服部の自然を守る会」の皆さんの協力のもと、ホタルの生態について学び、ホタルの保護観察活動に取り組んでいます。今まで、地域の皆さんや先輩たちが取組んで来られた「ホタルの里」として、ホタルが舞う服部川を守り続けることは、私たちの生活している環境を考えることにつながります。ホタル学習を中心として、服部の自然について学んでいくことを通して、服部川にホタルが飛び続けるために、自分たちにできることを考えて行動していくために、「総合的な学習の時間」を中心に、年間通じて「ホタル学習」に取り組んでいます。	

⑨ 活動の目的・概要(500字程度で簡潔に)	
報告するメインの取組に○を入れてください。	
☐	ホタルや水辺の生きものに関する観察・保全活動などの取組
☐	河川など水辺における活動を基本とした、水環境の保全に関する取組
☐	いなくなったホタルや水辺の生きものを呼びもどす取組
【活動の目的】	
「服部の自然を守る会」の皆さんと共に、ホタル学習の伝統を受け継ぎ、服部にホタルが飛び続けるために自分たちができる活動について考え実践していく。ホタル学習を通じて、服部の豊かな自然に触れ、水の汚れやごみ問題など、環境について自分たちの問題として捉え、日々どう行動していけばいいかを考えられるようにする。	
【概要】	
①1学期「ホタルを知らう」…「服部の自然を守る会」のゲストティチャーによるオリエンテーション。ホタル祭に向けての取組み。(ホタル情報・ステージ発表・ホタルドームの設営・ホタルの数の調査・ホタルの捕獲・飼育) ②2学期…「ホタルが住む町」…水生生物の観察と水質調査。服部川のごみ調査。アンケートによる地域の方の環境に対する意識調査。「芦田川きれい☆きれいプロジェクト」の取組み。「ほたるの館」見学とホタルの幼虫の放流。 ③3学期…「今!私たちにできること」…環境に優しいアクリルタワシ作り。「服部川クリーン大作戦」→自分たちで計画する服部川清掃活動。ポスターやチラシを作って地域の人や他の学年にも参加を呼びかける。	

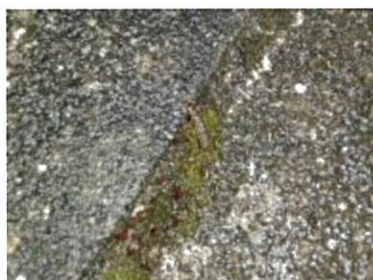
⑩ 活動の内容について、流れがわかるように記入してください。

なおその際、活動の成果（調べた内容や達成した内容）も写真やイラストなどを可能な限り添付（又は送付）して、可能な限り具体的に記載してください。

いよいよ始まります！ホタル学習！

【4月】ホタル入門編

「服部の自然を守る会」会長 鴨田さんのお話です。このあと、一人ひとりテーマを決めて調べ学習をし「ホタル情報」として発信します。



【児童の感想】

ホタルには色々な種類があって、服部のホタルは、ゲンジボタルだと初めて知りました。ホタルの幼虫は、成虫とは全然似ていません。雨の日やじめじめした日に、道路で見つけられると聞いたので6月頃に注意して見つけてみたいです。どうやって、光を放っているのか知りたくなりました。オスとメスの違いは、ホタルの捕獲に行った時、確かめたいです。オスとメスも見分けられるかどうか、捕獲が楽しみです。ホタルについて、まだまだ知らないことがたくさんあるんだなと思いました。

【5月】川の生き物探検

「服部川には、どんな生き物がいるんだろう？」毎年5月の「川の生き物探検」は、どの学年も楽しみにしています。実際、川に入って水生生物を観察したり、捕まえて水槽で飼って成長を観察したりするのは、とても楽しい活動です。



【児童の感想】

魚は草むらにたくさんいました。網で捕まえるのは、一瞬なのでとても難しかったです。上流に行くほど、川は澄んでいき、魚の数が多いなと思いました。サワガニを一生懸命探したけど見つけれませんでした。ドンコやカワムツ、タカハヤがたくさんいました。ドンコは水槽で飼う時は、他の魚を食べてしまうので別々にしないといけないなと思いました。ドンコもタカハヤも長生きで、冬に凄く寒い廊下の中の水槽の中でも生きているから今年も大丈夫だと思います。

【5月】 ホタルドームの設営

2012年度に、夢プロジェクトに採用された「ホタルドーム」は、「夢はかなう」という私たちの未来に大きな希望を与えてくれました。毎年、ホタル祭の前に5年生が設営します。

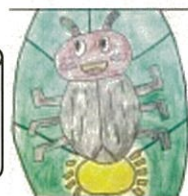


☆ホタルドームの中には、「ほたるの一生」のパネルを貼ります。一人でも多くの人に、ホタルのことを知ってもらいたいという願いを込めて貼っていきました。



☆「服部川のすぐ近くでホタルが見られる施設を造って、多くの人に服部のホタルを楽しんでもらいたい。」という願いが、夢プロジェクトに採用され地域の皆さんに協力していただきながら、「ホタルドーム」は完成しました。

ホタルキャラクター
「ほたるん」



【6月】 ホタルの数調査

☆ホタル祭では、毎年「ホタル情報」を発信しています。どの辺りにどのくらいホタルが飛んでいるかという情報を提供していき、来られる人にたくさんのホタルを楽しんでもらえるといいなという思いから、毎年数調べをしています。



☆えびす橋～南屋橋まで、どのくらいホタルが飛んでいるか調べました。今までの最高の1090匹も飛んでいて驚きました。上流の宝泉寺橋の辺りの方がたくさん飛んでいるのかと思っていたので、その年によって違うのかな、時間が早すぎたのかなと思いました。川の辺りだけではなく、竹藪の中にもたくさん飛んでいて、数えるのが大変だったけど、すごくきれいでした。

【6月】 ホタル祭

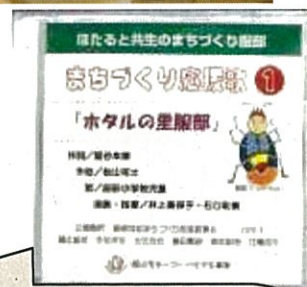
「ホタル祭」ステージ発表



「歌声を響かせて ホタルの里 服部」



「ホタル情報」は、何年も続く伝統のボードです。今年は、どの辺りにホタルがよく飛んでいるか、このボードを見れば一目瞭然です。「自然を守る会」の鴨田さんのオリエンテーションのあと、一人ひとりテーマを決めて調べ学習をしたものを掲示しました。ホタルを知る第一歩です。



「もっと服部を元気にしよう!」「ホタルがもっと好きになるために、みんなで口ずさめる元気の出る曲を考えよう!」ということで、地域の皆さんと一緒に考えて下さいました。歌詞は、地元在住の熊谷本郷さんが服部にホタルが飛ぶ様子を思い浮かべて作って下さり、歌唱指導には、地域でコーラスの指導をされている井上さんが来て下さいました。CDを作ったり、「ホタル祭」や11月の「あい音楽祭」で発表したりして、「ホタルの里服部」をPRできました。

あい音楽祭
で発表



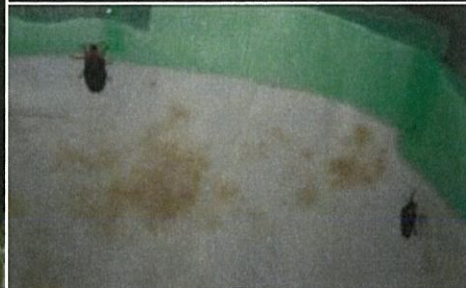
【児童の感想】

ホタル祭のステージ発表は、すごく緊張しました。1年間の「ホタル学習」の内容をみんなで発表しながら、「自分たちも今年こんなふうにしていくんだな。」と思い、環境問題や水の大切さについては、まだまだ知らないことだらけなので、しっかり学習していきたいと思いました。「ふくやま環境賞」を励みに、今年はぼくたちが頑張っていかなければいけないと思いました。ホタルの捕獲と飼育は今からとても楽しみです。アクリルたわしづくりは、難しそうだけど、6年生に教えてもらって覚えようと思いました。2月の「服部川クリーン大作戦」は、ぼくたちが中心になって計画するので、すごく寒い時期だけど頑張ろうと思いました。

【6月】いよいよ！ホタルの捕獲です。
メスとオスを捕獲して卵を産ませます。
卵が、ふ化する頃から室温調整もかねて、
「ホタルの館」でお世話になりました。



ガーゼが乾かないように霧吹きで水をかけながら教室のケースで飼っていると、順調に卵が産まれました。今年は、1000～3000匹ほど産まれ、例年よりやや少なかったです。捕獲に行った時も、オスが多く、今年はメスを見つけるのに苦労しました。「自然を守る会」の皆さんが、見分け方を丁寧に教えて下さったので、みんなすぐにわかるようになりました。メスが少なかったのも、卵が産まれるか心配です。



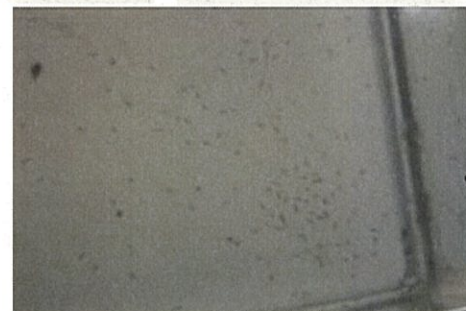
ガーゼにびっしり卵を産みました。成虫は、10日～14日ほどで死んでしまいました。

【感想】

オスとメスの見分け方も、調べ学習をしていたのですぐに分かりました。よく飛んでいるのがオスで、草むらでじっとしているのが、メスだと教えてもらったのですが、やっぱりメスはなかなか見つけられませんでした。時期的に少し遅かったかもしれないそうです。場所や捕まえる時間帯も関係あると思いました。ホタル祭の時、「ホタル情報」を作った5月の終わりごろは、学校より下の方にたくさんホタルが飛んでいました。2週間たったので、少し様子が変わってきたのかもしれません。はじめた日にホタルはよく飛ぶと聞いていたので、雨が降りそうな今日みたいな日がちょうどいいのかなと思いました。鴨田会長さんや江種さんが、「川沿いの道路端は、よく見るとホタルの幼虫が上ってきているよ。」と言われたので、雨が降りそうな日に行ってみようと思いました。時々川を見に行くと聞いて、すごいなと思いました。今日捕獲したホタルが、卵をたくさん産んで欲しいし、大きく育てて秋の放流で川に返すのが楽しみです。



順調に黒くなってきました。霧吹きを忘れずに！たくさん産まれて欲しいです。



卵から孵化した幼虫です。ゴミと間違えそうなほどの大きさでした。卵からかえると、下の水槽に落ちるのだそうです。「自然を守る会」の江種さんが、心配をして、時々見に来て下さいました。



ずいぶん大きくなりました。カワニナを食べています。もう、この頃になると、カワニナを小さく切る必要はありません。ただし、カワニナの中にヒルがいると、ホタルの幼虫は食べられてしまいます。毎年、放流までに減ってしまう原因は、ヒルなのだそうです。

【9月】水質調査

・毎年行う水質調査です。昨年度と比較して、服部川にすむ水生生物から現在の服部川の水質がどんな状態なのかを観察しました。ふだん何気なく見ている服部川ですが、実際に川に入ってみて、ゴミは落ちていないかだけではなく、「透明度はどうか」「においは無いか」など、注意してみることが大事なのだと気がきました。その後、パックテストで、どんなものが水を汚すかという実験をしました

『これから！水生生物を探します。』



『水質階級を一覧表で確認します。』



パックテストは、待っている間に色がどう変わるかドキドキしました。川の水が、汚れていないという結果がでると、ほっとしました。調味料やスポーツ飲料、食べ残しの汁などは、水の汚れに係るので、必要以上にいっぱい使ったり、飲み残しをしたりしないように家の人にも協力してもらうように、声かけをしていきたいと思いました。

『指標生物からみる水質階級の判定表』

○は数が少ない ●は多い

水質階級	I		II		III		IV	
	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年	昨年	今年
○と●の個数	3	4	7	3	2	0	1	0
●の個数	0	0	2	2	0	0	0	0
合計	3	4	9	5	2	0	1	0

※水質階級は、『ややきれいな水』という判定でした。

見つけられた水生生物を比較すると水質レベルは同じIIですが、水質階級Iのブユ類、アミカ類、ヨコヘビ類など、今まで見つけられなかった水生生物が見つけられ数も3→4に増えていた。そのため、環境課の方が、「水質階級は同じだけど、服部川は、去年よりややきれいになっていますね。」と言われて、すごく嬉しかったです。でも、タニシ類やチョウバエ類が見つけられたのは、今後、注意が必要だと言えます。タニシ類は、繁殖しやすく生命力が強いので気を付けて観察する必要があると思いました。ホタルのえさのカワニナがいつもの年に比べて、たくさんいたので、ほっとしました。シジミもたくさん見つけました。タニシ類と一緒に、外来種のタイワンシジミが入ってくると、ヤマトシジミやマシジミに影響が出るので、気を付ける必要があるそうです。

【10月】 服部川ごみ調査

水質階級はⅡで「ややきれいな水」という、判定でしたが実際に服部川にどのくらいごみがあるのか、自分たちで調べてみることにしました。道路側から見ると、川の水はきれいだし、ごみも気になるほどではありませんでした。でも、実際に川に下りてみると様子が少し違っていました。



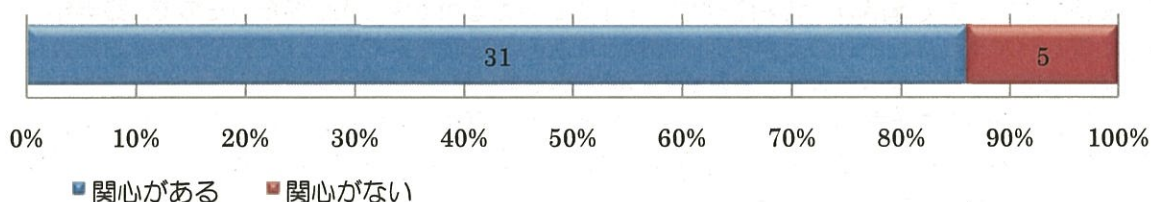
宝泉寺橋～新橋～平成橋～えびす橋と、ポイントごとにごみ調べをしました。下流に行くほどごみの量が増えていました。お菓子のごみやたばこの吸い殻、牛乳パックや洗剤の箱、ティッシュなどの生活用品が予想外に多くて驚きました。家庭ごみの収集日は決まっているのに、ごみステーションに持っていない人がいたり、通りがかりの人が投げ捨てをしていたりしているのかなと思いました。ビニール袋に分別して集めていくと、どんなごみが多いか良くわかったし、資源ごみと不燃ごみの違いも少しわかるようになりました。



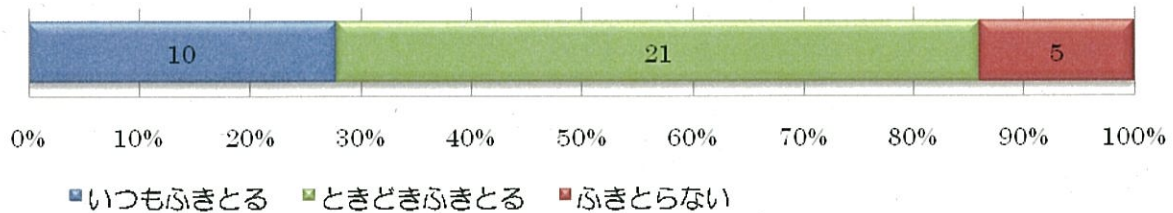
水質調査とごみ調査をうけて地域の方へのアンケートを実施しました（調査人数36人）

ホタルは地域の宝であり、服部の自慢です。地域の皆さんも「服部川や服部大池は地域のシンボルとしてふさわしい」と多くの方が感じておられます。そこで、生活排水について日常的にどう取組んでおられるのか意識調査をしました。

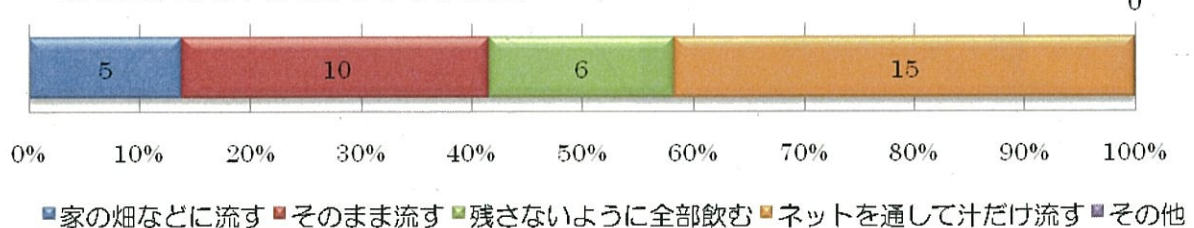
服部川や服部大池の水の汚れや水質に関心がありますか。



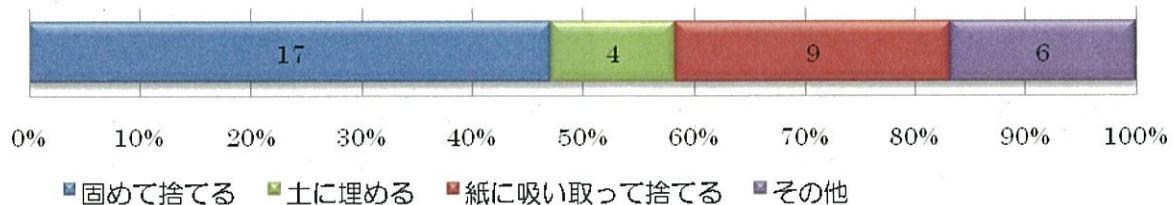
食器についた油や食べ残しは、洗う前に紙でふき取りますか。



残った飲み物や汁物はどうしますか。



使い終わった油はどうしますか。



【アンケート調査結果から】

- 服部川や服部大池の水の汚れや水質に関心がある人が、31人（86%）と高い割合を示しており、例年この水準を維持しています。
- 食器についた油や食べ残しは、洗う前に紙でふき取る人が多いのは、水質調査の時に食べ残しや、残った汁などを流さないようにして欲しいという願いを実行して下さっていると思いました。ふき取る事は、すぐできることだし、自分たちも意識して習慣になるようにすればいいと思いました。紙ナフキンなどは、もったり商品を買ったりしたときについてくるので、とっておいて油もののふき取りに使うようにすればいいと思いました。
- 台所用洗剤は、「きれいに汚れが落ちる気がする。」「洗剤で洗わないと、きれいになった気がしない。」「食洗器を使っているので専用の洗剤を使っている。」といった理由で使う人が多かったので、毎年作っている環境に優しいアクリルたわしのよさをもっと知ってもらう取組を考えたいです。アクリルたわしについて、調べ学習をして、分かりやすくまとめていきたいです。
- 「使い終わった油」の始末は、ごみとして出すときには、「固める」や「紙に吸い取って捨てる」など、気を付けている人が多いと思いました。そのまま捨てていると、管やパイプの詰まりや故障の原因になるということが分かりました。

【11月】 芦田川きれい☆きれいプロジェクト『河川浄化チャレンジ月間』

河川浄化チャレンジ月間 参加者募集！
きれいな芦田川を目指して、みんなが水質浄化に取り組もう！



芦田川清掃活動への参加

☆毎年、市内一斉芦田川清掃活動へも保護者の方と一緒に参加しています。

『家庭でできる水質浄化の取組み』を1か月間実践する事で、芦田川の水質改善への意識を高めると同時に取組みを継続することを目的とする活動に参加していきました。

◆家庭でできる5つの取組み（クリーン5）

- ① 排水口にネットをかけて、調理くずや食べ残しを流さない。
- ② 汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う。
- ③ 食用油は直接流さず、紙にしみこませたり、固めたりしてごみとして出す。
- ④ 食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす。
- ⑤ 選択の時に、洗剤の適量使用を心がける。

【クリーン5以外の各家庭での取組み】

- ・油汚れのあるものは、米のとぎ汁で先にすすぐ。
- ・米のとぎ汁は、畑や植木の水やりに使う。
- ・野菜の捨てるところは、田に持って行く。
- ・お風呂の残り湯を水撒き、洗濯に使う。シャンプーは適量を心がける。
- ・お風呂場の排水口に、ごみ取りシートを貼る。
- ・洗濯洗剤は、自然原料に近いものを使うように心がけている。
- ・食器を洗う時の洗剤は、薄めて使うようにしている。

【活動を終えて保護者アンケートより】



ちょっとした工夫で川がきれいになるので続けていきたいと思いました。意識を高めるためにも、今後もチャレンジ月間があるとよいと思いました。



環境については、とても関心があるので普段からできることは実行しています。一人一人の気持ち次第で自然を守ることができると思っています。



子どもが、私が排水口にネットをかけたり、衣類の汚れがひどいものは、まず固形石鹸で手洗いして洗濯機に入れたりしているのを見て、「すごい！いつもありがとう！」と言ってくれた時、家庭で取り組んでいることは、子どもの勉強になるのだと思いました。



子どもは、学校で「ホタル学習」。家庭では、「クリーン5」の取組みをすることで家族みんなで意識して、これからも取組んでいこうと思いました。



下水管が、通っているのにまだ接続されていない家があるので早く全戸に接続されればよいと思います。せっかく、ホタル学習の取組みの成果として整備してもらったのに、もったいないと思います。

【12月】ホタルの館見学 ホタルの放流

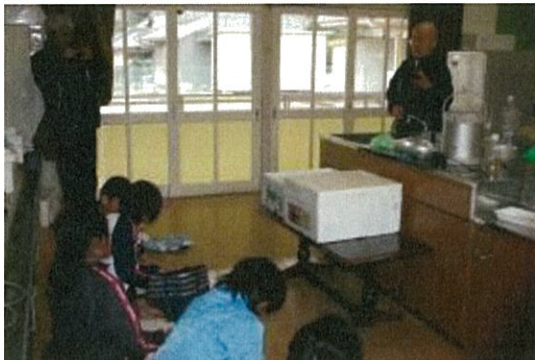
幼虫になったホタルを服部川へ...

○大きくなった幼虫を、服部川に放流しました。来年の6月には、成虫になったホタルがきれいに飛び交うことを願って放流しました。12月の服部川は、とても冷たく、これから厳しい冬を迎えます。

【児童の感想】

鴨田さんの話の中で、心に残った言葉は「ホタルは、卵を500匹産んでも少ししか成虫にならない。」と言う言葉です。ホタル祭の時、ステージ発表で言った自分の台詞を思い出しました。放流する幼虫も確かに少なく「ああ、ここまで育つ幼虫はこれだけしかいないんだなあ。」と思いました。今年は、えさのカワナの中に入っていたヒルにやられたそうです。ほたるの館には、賞状やメダルがたくさんあったので、「自然を守る会」の人たちは、服部だけではなく色々な所で活動されていて、その活動が認められて表彰されているのだなと思いました。やっぱり、この「自然を守る会」はすごいんだなと思いました。

「うわっ、こんな昔からホタルの放流をやってたんだ！」ぼくは、ほたるの館の白黒写真を見て、すごくびっくりしました。驚いたことは、他にもあります。「服部の自然を守る会」の人たちは、「やめたいなあ。」と思うこともあるけど、活動を続けて下さっているということです。ぼくは、将来「服部の自然を守る会」に入って活動してみたいと思いました。ホタルを放流する時、服部川がホタルの光でいっぱいになる様子が目に浮かんできました。放流したところは、注意して踏まないように気を付けて歩きました。華音ちゃんは、「ホタルさん、さようなら。」と言っていたので、ぼくといっしょで少しさびしい気持ちなんだなと思いました。



ホタルの放流は、初めての体験だったので、どんな感じなのか、わくわくしていました。鴨田会長さんの話の中で「服部の自然を守る会」が私たちが生まれる前から、24年間も続いていると聞いてすごいなあと思いました。鴨田さんは、「この会は、みんながホタル学習をしたり、生き物観察をしたりする時に手助けができるように活動をしています。」と聞いて、すごく嬉しくなりました。ホタルの放流は、「来年、必ず、きれいに光りながら飛んでね。」という願いを込めて放流しました。ホタルがいっぱい飛ぶように、ごみの投げ捨てが無くなるようにしたいです。



こんなに大きくなりました。いよいよ放流です。





【1月】 服部川クリーン大作戦

○これまでの学習を生かして、ホタルが飛び続けるために、今わたしたちにできることは何かと考え、活動計画を立てて実践して이었습니다。

アクリルたわしを作ろう

○アクリルたわしは、①水だけで汚れがきれいにとれる②地球に優しい③肌にも優しい④洗剤を使わないので化学物質を出さず、水を汚さないエコなたわしです。

これで、くつもピッカピカ☆



大掃除の窓磨きもこれ一つでOKです



フローアもこれで磨けば、ほこりも汚れもばっちり取れますよ♪



毎年5年生が、色々な方に教えていただきながら作っています。来校された方にプレゼントしています。

パソコンのほこり取りにとっても便利♪



洗い物には、日常的にぜひ！使ってね。



6年生から5年生へ
伝統的に伝えていく「アクリルたわしづくり」

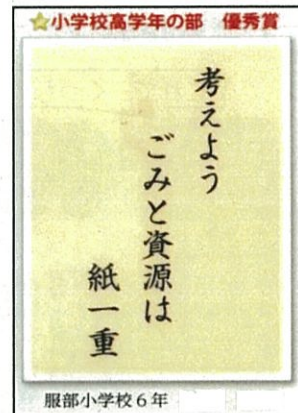
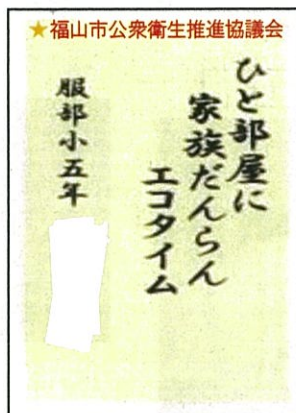


ポスターや標語を作って呼びかけよう！

服部の自然環境を守る活動をする中で感じたことや呼びかけたいことを標語にして、地域のごみステーションに掲示してもらったり様々な団体が主催するコンクールに応募したりしました。



服部小学校 5年



服部小学校
6年



服部川クリーン大作戦開始！

○毎年、2月に服部川の清掃活動を行います。公民館に呼び掛けて、「服部の自然を守る会」の皆さんをはじめ、地域の方に多数参加していただけるように、実行委員会を作って5年生が中心になって、企画していきます。

児童集会で参加の呼びかけをし、ポスターや広告も低学年用、中学年用、高学年用として3種類のものを作成して配布します。各地域のごみステーションには、「クリーン大作戦」のお知らせポスターを掲示して回ります。当日は、保護者だけでなく、家族や卒業生の参加もあり、「みんなで服部川をきれいにしよう！」という気持ちが高まります。

☆全校児童集会で「クリーン大作戦」への呼びかけをしました。



【当日の実行委員の様子から】

グループに分かれてごみを拾います。取る場所と、出たごみの分別の仕方、タイムスケジュールの説明をします。みんなで頑張りましょう！



種類別に集めたごみの報告をします。毎年のですが、たくさんのごみを集めることができました。服部川周辺には、予想以上にゴミがありました。分別をして出したいと思います。ご協力ありがとうございました。



さあ！いよいよ、ごみ拾いの開始です！



これからも、みんなで「ホタルの飛ぶ服部川」をきれいにしていきたいと思います。



「クリーン大作戦」は、自分たちで計画して服部川をきれいにするためにがんばることができたと思います。今まで参加してきた清掃活動だけど、いざ自分たちがリードするとなると大変でした。広告やポスターを3種類作りました。分かりやすくする工夫をし、一人でも多くの人に参加してほしいという気持ちで作りました。

当日は、寒かったけど、去年メインで活動していた6年生も、私たちのために参加してくれて嬉しかったです。私の家は、お父さんと妹とお兄ちゃんに参加しました。お兄ちゃんは「懐かしいなあ。」と言って、川の近くの危険なところのごみを取ってくれました。地域の人もたくさん来てくださって、「大きくなったね。」と言われたり、色々な話をしたりしながらごみを拾うのは楽しかったです。集まったごみを見て、「まだまだこんなにゴミがあるんだ。」と思いました。私も分別や水の無駄遣いをしないように気を付けたいし、「クリーン大作戦」を続けていかなくてはいけないなと思いました。

⑪ 活動で工夫したことなどを記入してください。(800字程度で簡潔に)

小学校区内の調査の場合、活動が限定されたり十分な資料が入手できにくいこともあるが(活動時間や調査範囲やアンケートの絶対数など)、地域を3ヶ所(上流・中流・下流)に分けて観察を行い、結果を比較して考察していくようにすると違いが分かり児童の思考も深まった。

水質調査と地域の方への「生活排水アンケート」服部川ごみ調査、を受けて「芦田川きれい☆きれいプロジェクト」に参加し、1ヶ月間家庭できる5つの取組み(クリーン5)の実践に繋げていった。1ヶ月間、各家庭で実践していただいた後の感想で、水に対する関心の高まりや水の汚れに対する意識が深まったことがわかった。家庭での取組みは、児童も間近で見ると、川を汚さないための、水の再利用や洗剤の適量を考えることなど、家庭でも話題になり、一緒に取り組むことができ、効果的だった。

4月の川探検を初め、夢プロジェクトの「ホテルドーム」の建設、「ホテル祭」、もち焼き集会のやぐら組みや炭作り、「服部川クリーン大作戦」など「服部の自然を守る会」の皆さんやスクールボランティアの皆さんに支援していただきながら色々な活動を行っている。「ホテルの里服部」のまちづくり応援歌は、「ほたと共生のまちづくり」をPRするものであり、服部が元気になるために作られたことを知って、「あい音楽祭」でも、みんなの心を一つにして合唱することができた。自分たちの成長と共に歌い継いでいこうと意欲的な取組みとなった。

このように、地域が一体となって、活動を支えて下さっていることに感謝し、自分たちは見守られていると感ずることが出来る環境にあることは、「感謝の気持ちを持つ」ことが実感でき、自分たちも何かできることをやっいていこうという他者意識の高揚に繋がっている。

⑫ この活動を通して、指導者から見た子どもたちの意識の変化、行動の変化などがあれば記入してください。

(800字程度で簡潔に)

1年間の活動を通じて、服部の自然の素晴らしさを再認識し、ホテルが住みやすい環境にするためにどんなことをすればいいかを考えることができた。また、水の大切さが分かり、再利用する方法や水を汚さないために自分たちがどう行動していけばいいかを考えて、水の無駄遣いをしないことを意識して行動する姿が見られるようになってきた。調べ学習や聞き取り学習、アンケートを通じて学習を積み上げていくことが、ホテルを守ることに繋がると、どの児童も気づくことができた。3学期の「服部川クリーン大作戦」や「アクリルたわし作り」は、これまでの学習を生かして主体的に実践していく活動となり、「学習を生かす」という貴重な経験でもある。そして、服部のホテルを守るために自分たちができることに取り組んでいるということが実感できた。また、ごみの分別に対する意識を高めたり、年3回ある資源回収への参加の意義を考えたりすることもできた。「服部の自然を守る会」の皆さんが中心となって、ホテルを守り育てる活動を進め、地域活性化のための朝市やフラワー道路の整備などが、市に認められて下水道の整備が進んだことは、ホテル学習が自分たちの住環境にも関係し、生活改善に繋がっていることに驚くと同時に、これまで続けている活動の大切さを感じることができた。そして、服部小学校の5年生が中心となって、1年かけて「ホテル学習」をする意義を感じることができた。それと同時にホテルを守るために「服部の自然を守る会」をはじめとする地域の皆さんが一体となって、行動されていることに感謝し、自分たちもできることをやっいていこうという意欲が持てるようになった。また、ホテル学習を支えて下さっていると皆さんに感謝の気持ちを持って接することができるようになってきた。「ホテルは、環境のシンボルでありバロメーターである」と言われた言葉の意味を考えて、自分たちができるところを続けていくことが大切だということがどの児童にも実感できた。

※こども発表者については、決まっていな場合、記入しなくても構いません。

⑬ -1. 選考された場合の発表者(こども2名)の氏名・学年

氏名(ふりがな)	学年:
氏名(ふりがな)	学年:

-2. 選考された場合の大人の登壇者(1名)の氏名・所属

氏名(ふりがな)

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。

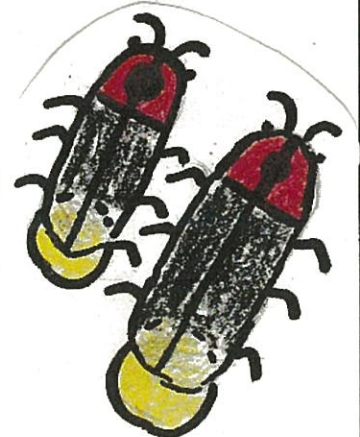
A drawing of a beetle, possibly a scarab, with a red head and thorax and a dark, patterned abdomen. It is positioned on a yellow circular background that has a vertical line through it. The drawing is done in a simple, illustrative style.



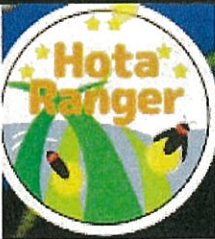
いす。
ホタルについて
何も知らなかった
私たちは、ホタルのこと
をいから教わり放流す
ることができました。
とちゅうでじしにやられ
たぐさん幼虫になら
なかったけど放流したら
ホタルは自分たちで生きていかな
ければなりません。来年6月
にホタルが飛ぶのをまじ
みにしてします。かしは
ホタルたち!!!



ぼくは、木タレのよう
虫は、ヒルなどにおそわれ、
たくさん産んでも、ほんの少ししか生
き残る事ができないという事が、
心に残りました。また、先さいを
使う時は木タレのことが頭になかひ、
木タレが死んでしまうのを
少したげにしようという気持ちにな
りました。木タレを増やしたいという気持
ちが今はたぐあります。言問味料
によって、川が汚れるので、食事の
味は、食で残して気をつけたいです
五年



※この用紙には活動に参加したこどもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタルレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。



※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。

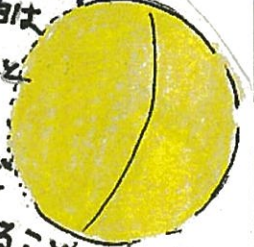


2014 こどもホタルレンジャー報告書

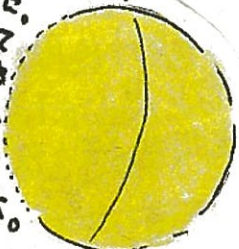
活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。



ホタル学習のよさは、もっともっとツカミ
れいになるように意識する
ようになることです。油は
ちゃんとふきとって洗うこと
が、習い事になったり、ア
クリルタワシをつかって洗
いをつかわないようにすること
を、心がけていきたいです。
6年



ホタル学習では、ホ
タルがどんな生き物なのか
を知ることができました。
ほくは、ゴキブリが嫌いな
の自然のために、環境を
いにつなげたいです。
かき考えて捨てるものに
気を付けていこうと思いました。
6年



ほくは、前までは
はみがきしている日々に
水を流しっぱなしにして
いたけど、きれいに
ロジエクトのクリーターの取
り方に気を付けています。月曜
水がきれい。毎年夏になるとホタルが
でいるので、そのきれいな水を
ためておくことをやっています。
6年



※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタルレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。



服部のよさは自然にふれあえることです。山や川がすぐ近くにあるのはいろいろな遊びが自然の中でできるよさがあり、また、この水の問題はまだ十分ではないので、服部をきれいにするために、川の使い方に気を付けてほしいです。

6年



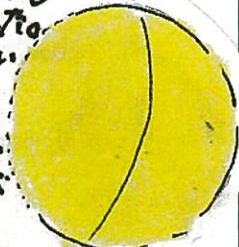
6年

菅田川の清掃活動はたくさんの人が参加していて、水質浄化の取り組みに関心があるのだなと思いました。ぼくの家も川を汚さないために、ゴミは固めて捨てるようにしています。一人ひとりが気を付けないと川はすぐに汚れるのだと思います。



ホタルの幼虫が食べるカワニナの中には、ヒルがいたり、他にもたくさんのがいることを知りました。ホタルをとりまく環境はきびしいんだなと思いました。水質浄化では、去年より水がきれいになって、7月6日に来年ホタルが飛んでほしいと思います。

5年



※この用紙には活動に参加したこどもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタルレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。

